

農業を担う人材の 確保・育成について



農林水産省

経営局 就農・女性課

農林水産省
就農のページは
こちら



20代の2人に1人が就農を検討!

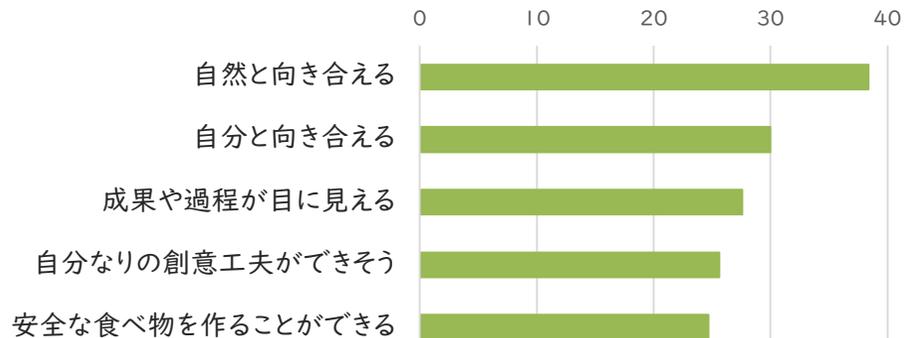


JA共済連が行った調査では、

- 20代の52.1%が「**将来、農業をやってみたい**」(調査対象:全国の20代男女10,000人)
- 将来農業をやってみたい20代の56%が「**就農に備えて準備を始めている**」(調査対象:将来農業をやってみたい20代男女700人)と回答。

JA共済連「2024年度 20代の農業に関する意識と実態調査」

農業の魅力は?(複数回答) (%)



JA共済連「2024年度 20代の農業に関する意識と実態調査」

将来、農業をやってみたい20代が考える農業の魅力は、「**自然と向き合える**」「**自分と向き合える**」「**成果や過程が目に見える**」が上位に。

農業についてどのように考えますか?(複数回答) (%)

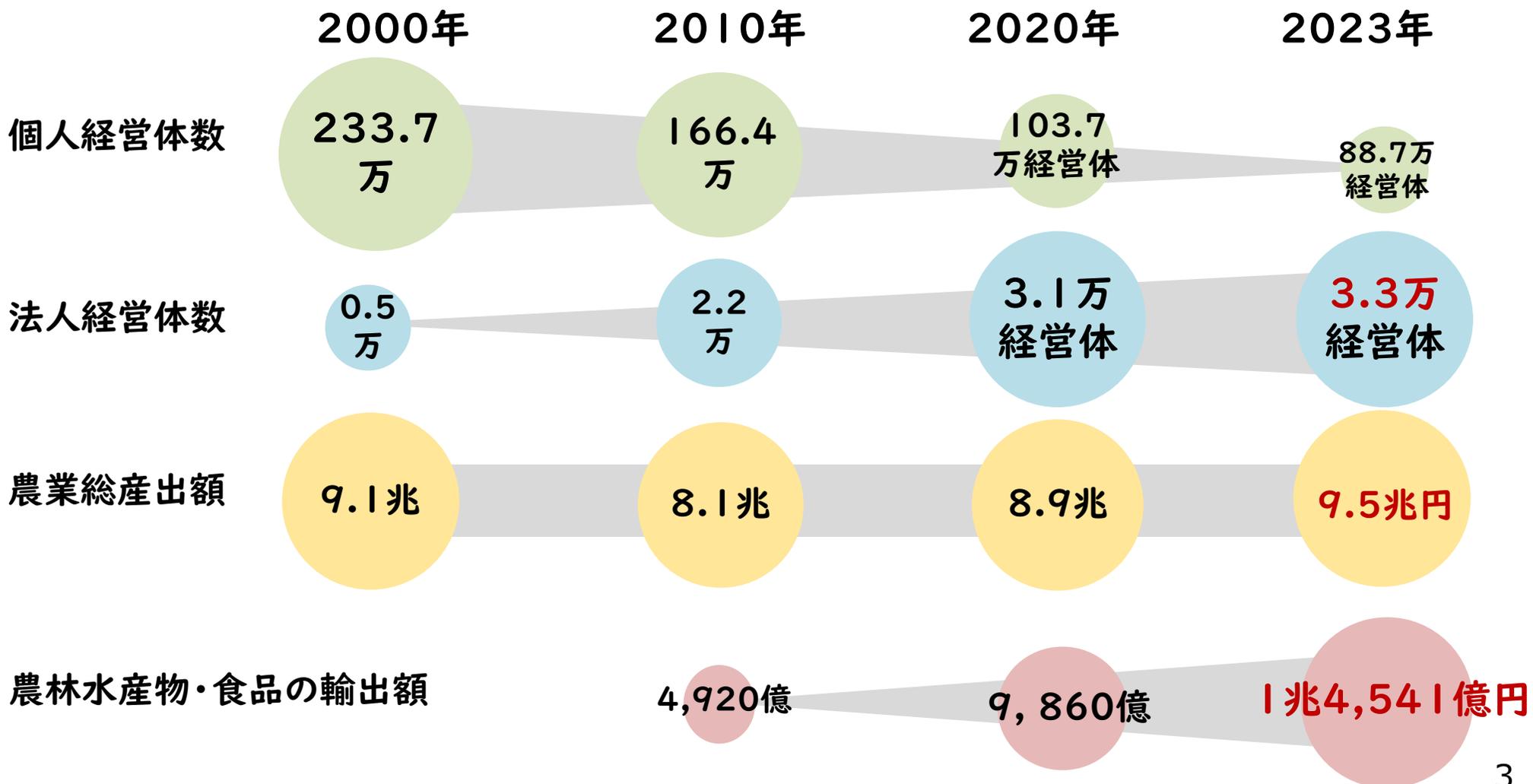


JA共済連「2023年度 農業に関する意識と実態調査」

農業に5年以上従事している者(100人)への調査では、「**やりがいがある**」「**社会の役に立つ**」「**夢がある**」(3Y)が上位に。

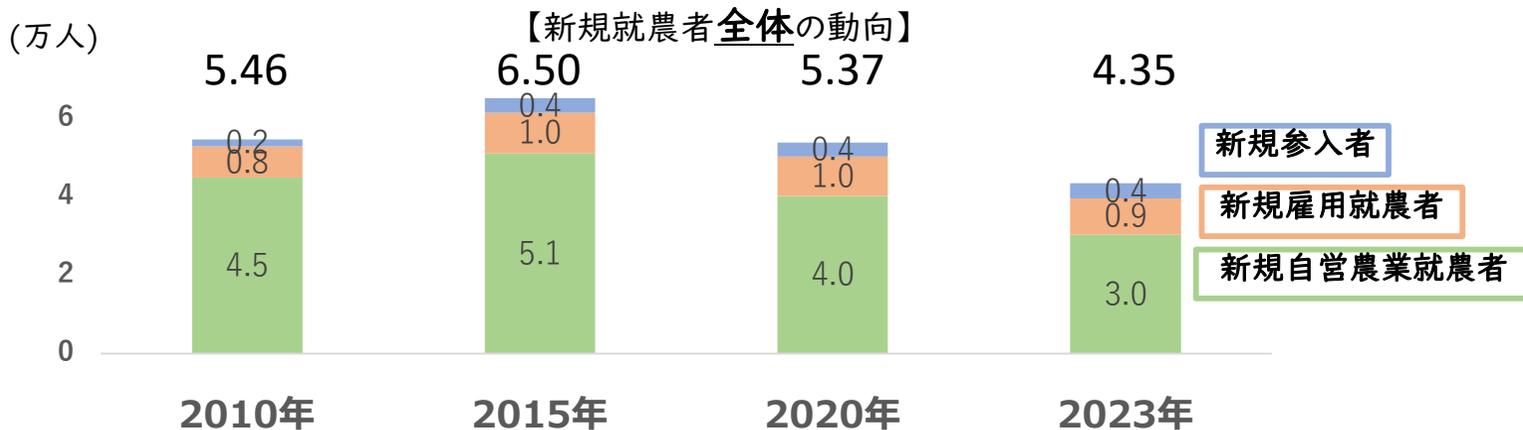
我が国の農業構造

- 個人経営体は減少しているものの、法人をはじめとした団体経営体数は着実に増加。
- 農業総産出額は、近年、米、野菜、肉用牛等における需要に応じた生産の進展等を主たる要因として増加。
- 農林水産物・食品の輸出額は増加傾向で、2023年は過去最大の1.45兆円。

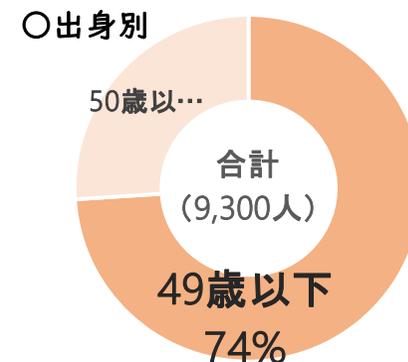


新規就農者数の推移

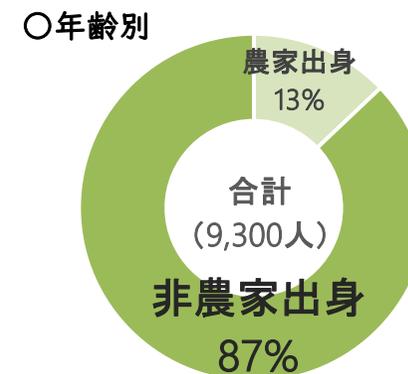
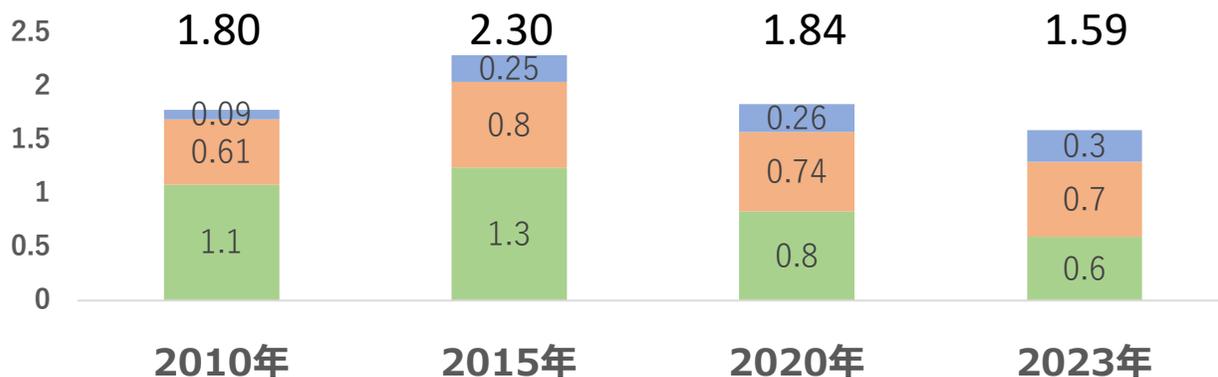
- 2023年の新規就農者数は約4.3万人。そのうち約7割は親や親戚を継いで就農する者。
- 新規雇用就農者（農業法人等に雇われる形で就農）は、平成27年（2015年）以降は1万人前後で推移。年齢別では40代以下が約7割。出身別では非農家出身者が約9割！
- 将来の担い手として期待される40代以下の若い就農者は、近年は1万6千人前後。



【雇用就農者の属性】



【新規就農者のうち、40代以下の動向】



資料：農林水産省「新規就農者調査」

（各年の数値は、2014年以前は当該年の4月1日～翌年の3月31日まで、2015年以降は、当該年の2月1日～翌年の1月31日までの1年間に新規就農した者の数）

※ 新規雇用就農者：新たに法人等に常雇い（年間7カ月以上）として雇用されることにより、農業に従事することとなった者

（外国人技能実習生及び特定技能外国人並びに雇用される直前の就業状態が農業従事者であった場合を除く）

※ 新規参加者：土地や資金を独自に調達し、新たに農業経営を開始した経営の責任者及び共同経営者（相続・贈与等により親の農地を譲り受けた場合を除く）

※ 新規自営農業就農者：個人経営体の世帯員で、生活の主な状態が、「学生」から「自営農業への従事が主」になった者及び「他に雇われて勤務が主」から「自営農業への従事が主」になった者

新規就農施策の全体像

「農業」
の発見



農業の魅力発信支援事業

職業としての農業の魅力発信の取組を支援

就農
検討



農業人材確保推進事業

新規就農相談・情報発信、就農相談会の開催等を支援

就農
準備



独立自営就農者への支援

就農準備資金

研修期間中、年間最大150万円
を交付(最長2年間)



雇用就農の促進
(農業法人等への支援)

雇用就農資金

・正規雇用に向けた**トライアル雇用**
就農の実施のためのマッチング
経費等を支援

・就農希望者を新たに**正規雇用**する
農業法人等に対して、**年間最大**
60万円を交付(最長4年間)

雇用体制強化事業

・**就労条件改善による従業員の**
働きやすさを高める取組を支援

・**他産地・他産業との連携等に**
よる労働力確保の取組を支援

就農
開始



経営開始資金

新たに経営を開始する者に対して
年間最大150万円を交付
(最長3年間)

経営発展支援事業 等

新規就農者の**機械・施設等の導入**を
支援(国の補助上限500万円)

世代交代円滑化タイプ
機械・施設等の導入に加え、**修繕・**
移設・撤去や、**経営移譲**に向けた取組を
支援(国の補助上限600万円)

経営
発展



受入体制支援

農地の受け手確保に向けた 新規就農者 誘致環境整備事業

地域計画の策定により
明らかになる
受け手のいない農地に
新規就農者を誘致するための
・体制整備
・研修農場の整備
・就農前後の方に対する
トータルサポート活動
・農地の整備等
を一体的に支援

教育支援

農業教育 高度化事業 等

農業大学校や農業高校等
における
農業教育の高度化・充実に
必要な
・カリキュラム強化
・研修用機械・設備の導入
・施設の整備
・ICT環境の整備
・現場実習や出前授業
・現役農業者に対する
リ・スキリング
等を支援

まずは体験してみよう！ 1日・1時間単位で参加できる農業バイト

- 農業でも、生産者と求職者をマッチングする労働力募集アプリの活用が進展。
- 1日・1時間単位から農作業でき、**学生など若い世代の利用が多い。**
- 利用者のうち、46%が農作業の未経験者であり、「まずは体験してみたい」というニーズにもマッチ。

労働力募集アプリの事例

デイワークの仕組み

資料：とかちアグリワーク



<https://day.work/>



農Howの仕組み

資料：株式会社アグリトリオ



<https://agritrio.co.jp/nouhow.html>



利用者の特徴

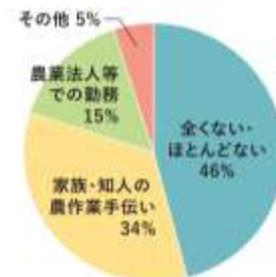
年齢



職業



農作業経験



就農情報ポータルサイト「農業をはじめる.JP」

農業に興味を持たれた方や、これから農業を始めたい方が、農業を知り、就農に向けて具体的な行動を起こしていくために必要となる情報を一元的に閲覧できる就農情報のポータルサイトを開設。

※ 農林水産省補助事業（農業人材確保推進事業）として、全国新規就農相談センターが運営。



就農に向けた段階に応じて必要となる情報を網羅

就農を知る

- ・農業って、どんな仕事？
- ・就農適性診断
- ・先輩農業者の就農ストーリー
- ・支援が充実している地域の紹介

研修・学ぶ

- ・農業が学べる教育研修機関（農大、農業専門学校等）
- ・自治体やJA等の研修情報
- ・民間企業等が開催する農業研修情報

体験する

- ・農泊
- ・自治体や民間企業等の農業体験情報

求人情報

- ・新規就農相談センター求人DB
- ・ハローワークインターネットサービス
- ・JAや民間企業等の農業求人サイト

相談する

- ・全国新規就農相談センター
- ・各都道府県にある就農相談窓口の紹介（JA・都道府県）
- ・自治体等が開催する就農相談会情報

支援情報

- ・都道府県・市町村の就農支援DB
- ・JAグループの新規就農支援
- ・農地・空き家を探す
- ・移住支援（「いいかも地方暮らし」等）

NEWS

就農希望者向け	
2025.05.19	山梨県 やまなし移住相談会in東京において就農相談を行います（6月15日(日)）
2025.05.18	東京都 【現保僅か！お申込みお早めに】5/31土曜日★東京での就農を本気で考えるツア
2025.05.18	長野県 5/31（土）開催 長野県新規就農セミナー&就農相談会in長野NAGANO（★上田市、高木村とコラボ）のお知らせ
2025.05.16	北海道 北海道DE新規就農・農業体験・法人就籍の個別相談やってみよう！
2025.05.15	千葉県 千葉県就農・移住セミナー&個別相談会「ちようどいい！千葉での就農！」の開催について



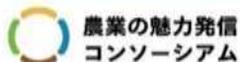
<https://www.be-farmer.jp/>

農林水産省だけでなく、関係省庁や自治体、JAグループ等が行っている支援やサービスも並列で紹介するとともに、自治体やJA、民間企業等が実施する農業体験や就農相談会等に関する情報をニュースとして掲載。

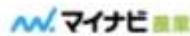
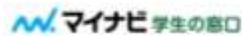
メディアを通じた農業の魅力発信

○ 民間企業が結成した「農業の魅力発信コンソーシアム」によるイベント・情報発信等を通じ、現場で活躍する若手農業者と、これまで農業に縁がなかった若者とをつなぎ、「**職業としての農業の魅力**」を知る機会を創出。

農業を、憧れの職業に。



私たち「農業の魅力発信コンソーシアム」は、農林水産省の補助事業を活用して全国の素敵な農業者たちと一緒に「職業としての農業の魅力」を発信します。



コンソーシアムの主な活動

- ①若者等にとって憧れや目標となる「ロールモデル農業者」をリストアップ
- ②若者等が「職業としての農業の魅力」を知る機会となるイベントやSNS等による情報発信
- ③「ロールモデル農業者」についてマスメディアへの情報提供・制作協力

ロールモデル農業者の就農ストーリーをNote に掲載

竹本 彰吾
たけもと 農場
(石川町農業者)

生產品目: コシヒカリ、ミルクQueen、ひとめぼれ、国産スペイン米 等

林 孝憲
フィールドマスター合同会社
(郡山県八代市)

生產品目: 牛用の稲発酵粗飼料、牧草「イタリアングラス」、ブロッコリー等

角倉 円佳
マドリン
(北海道広尾郡広尾町)

生產品目: 酪農

中野 聡
田力本願
(道庁直営農家)

生產品目米(コシヒカリ、松山三井、ミルクQueen、にこまる、ひめの凜) 等

高橋 佳奈
みのり農園
(道庁直営農家(11町))

生產品目: 野菜(白いともろこし、自然薯、ニンジン、レタス、ハーブ類等 200種類)

村田 翔一
ロックファーム京都
(京都府久美浜町山形)

生產品目: 野菜(九条ねぎ、白とちもろこし、イチゴ、レモン、枝豆)

その他、**総勢140名**のロールモデル農業者を中心に情報発信。

農林水産省からの情報発信

BUZZMAFF

農林水産省職員が自ら省公式YouTubeチャンネルでYoutuberとなるなど、担当業務にとらわれず、その人ならではのスキルや個性を活かして、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を発信するプロジェクト。(登録者数17万人)。



日本の農林水産業を世界へ



推しは、農山漁村です！我らが推しの魅力を、どしどしお届けします！



もっと皆さんの生活にお花を！お花の魅力や管理方法をご紹介します！



水産庁の若手職員が、水産業界を盛り上げるために全力でPRします！

aff

消費者の皆さん、農林水産業関係者、そして農林水産省を結ぶWebマガジンです。施策の現場のリポートやインタビューのほか、暮らしに役立つ情報も満載し、農林水産業における先駆的な取組や、農山漁村の魅力、食卓や消費の現状などをビジュアルで分かりやすくお伝えします。



1

育児を頑張る農業者の子育てと仕事の両立



2

好きなことと興味があることを活かして「半農半X」というライフスタイル



3

1日や数時間からでも働ける！ 授農・副業から始めよう



4

質りを高めながらために？ 農業の働き方改革

「農業女子プロジェクト」について



趣旨

「農業女子プロジェクト」(2013年設立)は、農業内外の多様な企業・教育機関等と連携して、農業女子の知恵を生かした新たな商品・サービスの開発、未来の農業女子をはぐくむ活動、情報発信等を行い、社会全体での女性農業者の存在感を高め、女性農業者自らの意識の改革、経営力発展を促し、職業としての農業を選択する若手女性の増加を図ります。農業女子同士のネットワークづくりにも取り組んでいます。

参加メンバーデータ

(2025年3月31日現在)

農業女子メンバー

パートナー
(企業・団体)

はぐくみ隊
(教育機関、部活・サークル等)



全国 1,091名



38社



11団体

具体的な取組

企業プロジェクト

企業と農業女子プロジェクトメンバーが協同で新たな商品やサービスの開発等を行い、女性農業者の活躍や魅力を発信(それぞれの企業活動の一環として推進)

チーム“はぐくみ”

高校・大学等の教育機関(部活・サークル等含む)と活躍する魅力ある農業女子メンバーが連携し、農業を志す学生の発掘や動機づけ、意識の向上のための取組を実施

SDGs活動の発信

“農業者のわたしたちにできる5つのこと”として農業女子メンバーのSDGs活動を発信

NEXTラボ

メンバーの関心の高いテーマについて勉強会等を実施

SNSやイベント等を活用した
女性農業者の魅力発信



取組事例

○企業連携



井関農機

女性も使いやすい農業機械開発



▲農業女子草刈機「プチもあ」



モンベル

農作業も快適な作業着開発



▲フィールドクールパーカWomen's

○オンライン勉強会

農業女子メンバーの学びと交流の場として、①プロモーション、②マネジメント、③ヘルスの各テーマでセミナーを実施。

勉強から実践へ

○先輩メンバーの先導による輸出の実践

オンライン勉強会を契機に、輸出に取り組む先輩メンバーの先導の下、輸出の実践に取り組むプロジェクトをスタート。香港・ドバイ・シンガポールでの販売を実現。

●輸出プロジェクトスタート



▲GFP×農業女子PJ
キックオフの様子

●香港での販売



▲香港のカフェでケーキに
福岡メンバーのいちごを利用 10

教育機関×農業女子プロジェクト「チームはぐくみ」



- 「農業女子プロジェクト」の「**チームはぐくみ**」では、高校・大学等の教育機関と、農業女子プロジェクトに参加する全国のメンバーが連携し、農業を志す学生の発掘や動機付け、意識の向上のための取組を実施し、職業の選択肢に「農業」を加えることを目指しています。
- 高校・大学等の教育機関のほか、部活動・サークル単位でも参加いただけます。
- チームはぐくみでは、農業女子メンバーの農場インターンシップや講義、ワークショップなどの様々な取組が可能です。

桜美林大学

- 農業女子メンバーによるセミナー開催
- 農業の魅力発信を研究



近畿大学

- 卒業生である農業女子メンバーが母校で講演、母校の学園祭マルシェに参加
- 農業女子メンバーの農場でインターンシップを実施



佐賀大学

- 『さが農業女子「カチカチ農楽が〜る」』メンバーによる招待講義を実施



産業能率大学

- Instagramを使った農業女子の情報発信
- 農業インターンシップも体験しつつ経営の観点からの情報発信を行う



東京家政大学

- 農業女子メンバーによるセミナーの開催と、模擬収穫体験の実施



東京農業大学

- 農業女子メンバーの農場でインターンシップを実施



羽田国際高等学校

- ～Wings Agriculture Project～農業×PBL型授業の実施。



※令和6年度より、蒲田女子高等学校から校名変更

南九州大学

- 農産物の播種、栽培、PR、食卓に並ぶまでを考え、宮崎県の農業女子PJメンバー、女性農業者グループと活動、イベント等で販売



宮城大学

- 学生に対し、参画企業や農業女子メンバーと連携したセミナーや農場訪問を実施。小中学生への食農教育の実践を通じて、学生自身の農業のイメージを具体化させる



山形大学

- 農業女子メンバーと学生によるワークショップ
- 農業女子プロジェクトメンバーによる講義



東大あぐりえこん。

- 勉強会・イベント等を通じた農業女子メンバーと学生の交流と発信



プレメンバー募集中!

- 就農を目指している学生も農業女子プロジェクトに参加いただけます!先輩女性農業者との交流や、セミナー受講等が可能です、就農後は農業女子メンバーとしてご参加いただけます。

プレメンバーの登録はこちらから➡



<お問い合わせ先>

経営局就農・女性課女性活躍推進室 TEL 03-3502-6600(内線:5194) E-MAIL team-jyosei@maff.go.jp

農業に興味がある学生さんへ①

- 新・農業人フェアは、「農業に、一步を踏み出そう。」をテーマに、日本全国の自治体、農業法人、農業研修機関が出展し、就農に関して相談ができます。また、農業現場で活躍する農業者の皆さんをお招きし、農業の魅力をお話しいただくセミナーも毎回開催しています。
- 農業に興味はあるけど、何から始めていいかわからない方、就農地が決まっていない方、農業への転職を考えている方には是非ご来場いただきたいイベントです。

就農相談会(新・農業人フェア)

新規就農ガイダンス、就農体験紹介、農業法人等の会社説明、自治体の就農支援情報の提供等を実施。



新・農業人フェア 開催日程

8/2 (土)	東京	歌舞伎座タワー	LIVE
9/15 (月祝)	東京	東京国際フォーラム	EXPO
11/9 (日)	大阪	グランキューブ大阪	総合
11/23 (日)	東京	東京ビッグサイト	EXPO
2/11 (水祝)	東京	東京交通会館	LIVE

EXPO | 50以上団体が集まる総合的な相談会

LIVE | 農業法人への就職に特化した相談会

総合 | EXPOとLIVEの総合開催

公式HPはこちら→



Q.開催時間は?

→各回とも10:00~16:00です。

Q.入場料は?

→入場は無料です。また、途中入退場も可能です。

Q.来場登録は必要?

→来場にあたっては公式HPから事前に登録が必要です。

Q.どんなことが相談できる?

→各回とも、農業に興味がある方から、職業として農業を考えている方まで、出展者と対面で相談ができます。特に「LIVE」は、農業法人への就職をお考えの方が、出展の農業法人と具体的な就職に向けた相談も可能です。

農業に興味がある学生さんへ②

○就農に関する具体的な相談をしたい皆様に向けて、各都道府県の農業経営・就農支援センターでは、個別の相談窓口を設け、就農希望地など具体的な条件等について、対面、オンライン、メール、電話での相談を随時受け付けています。

○また、総務省と連携し、東京駅近くの移住・交流情報ガーデンにおいても、就農について専門の相談員が対応しています。

就農相談活動

全国新規就農相談センター、各都道府県が整備する農業経営・就農支援センター及び就農情報サイト「農業をはじめる.JP」等において、情報提供、就農相談を実施。



【お問い合わせ先】

全国新規就農相談センター
(一般社団法人全国農業会議所)

☎03-6910-1133

URL: <https://www.be-farmer.jp/consult/>



都道府県農業経営・就農支援センター

URL: <https://www.maff.go.jp/j/keiei/soudanjyo.html>



移住・交流情報ガーデン

総務省と連携

ワンストップ移住支援窓口として、地方(農村)への移住・交流についての一般的な相談や問合わせに対応している。この他、就農情報について、専門の相談員が対応。



(平日) 10:00-19:00

(土日祝) 10:00-18:00

*休館日: 月曜(月曜が祝日の場合は火曜日)、

GW(5/3~6の土日祝)、年末年始(12/28~1/4)

ロールモデル農業者と交流してみませんか？

- 令和7年度から、大学農学部等の学生に対し、「若者にとって憧れや目標となるようなロールモデル農業者」との交流を通じて農業の魅力を発信し、学生の職業選択における新たな視点として農業を知る機会を創出しています。
- 令和8年度は、より多くの学生に農業の魅力に触れてもらえるよう、この取組を拡大したいと考えています。

～学生の皆さんへ～ 農業を職業の選択肢にしてみませんか？

1. 農業者等による講義



多様なキャリアを持つ農業者等が農業の魅力を伝えます！

2. フィールドワーク



希望により、農業者や大学の農場で、農業の実習ができます！

3. 学生の成果報告会



成果報告会で学生・学校同士の連携と農業に向けた意欲を高めます！

4. 農業者と学生の交流会



農業者と学生との双方向のコミュニケーションができます！

～大学のご担当者様へ～ 実施にあたりご協力いただきたいこと

1. 交流の機会創出



授業、ゼミや特別講義などの一環として、交流の機会のご提供をお願いします。

2. 交流場所のご提供



講義室(フィールドワークが可能な場合は農場等)の確保をお願いします。

3. 学生への周知



農学部の学生に限らず学内・他学部の農業に興味のある学生へ幅広く周知をお願いします。

4. 実施後のアンケート・進路調査

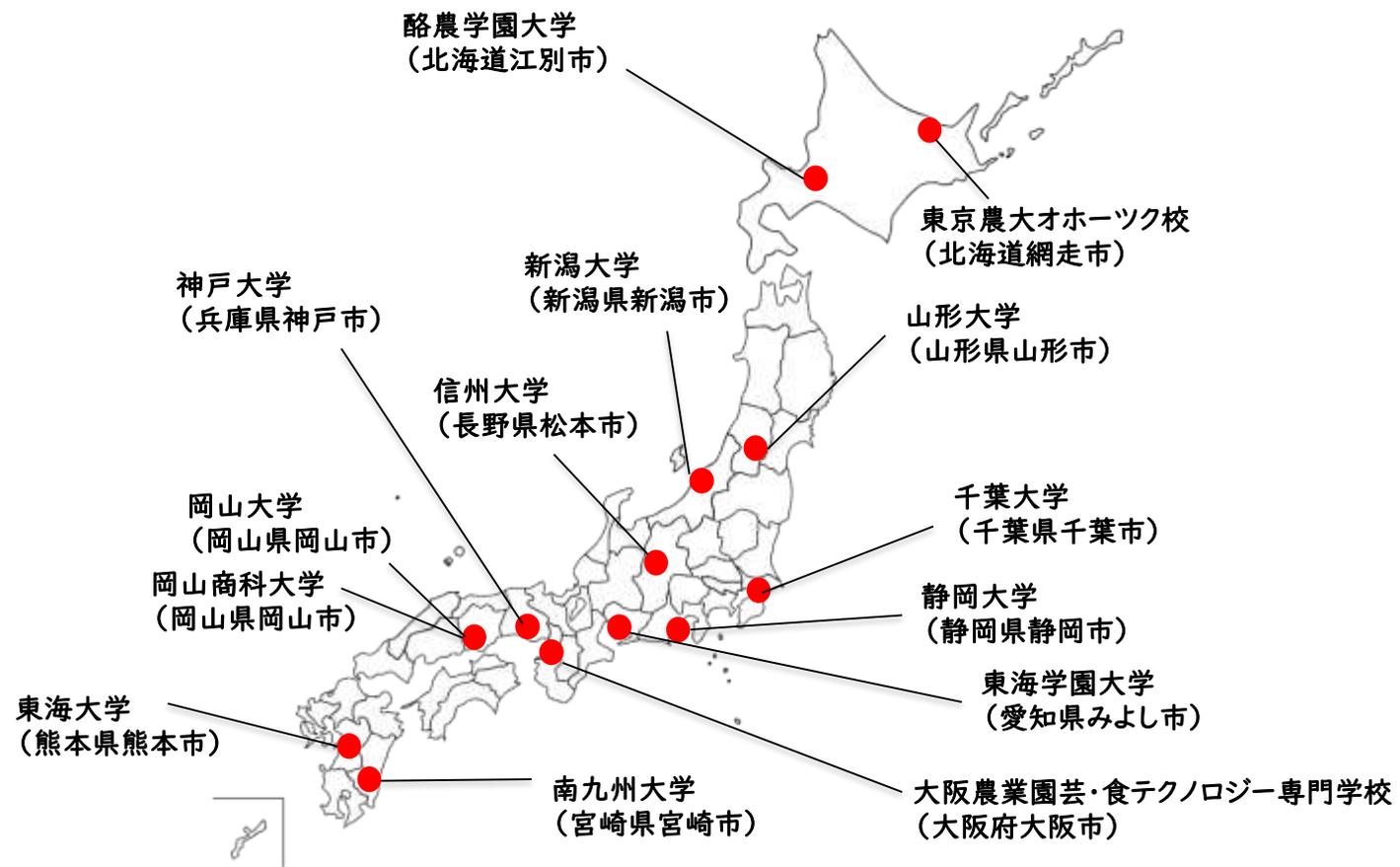


効果検証のため、アンケートや進路調査等のご協力をお願いします。

大学農学部等でのロールモデル農業者による講義等の実施予定校（令和7年度）

令和7年度は、地方の主要大学を中心に全国14か所の大学農学部等において、ロールモデル農業者による講義やフィールドワーク等を実施予定です。

【実施予定校】



ロールモデル農業者による出前授業の様子（令和7年4月 岡山大学での実施）

☆講演者：山田遼平さん

会社勤務を経て、2016年に岡山県北の新庄村へ移住。村役場に勤務する傍ら、ホップの栽培に取り組む。2024年7月からは、美作ビアワークスに参画し、アシスタントブルワーとして勤務するなど、様々な経歴を持つ。



講義では山田さんから、農家になることを決めるに至った経緯や、地域の原材料を活かした美味しいクラフトビールを製造すること、そのために質の高い原材料を生産すること等のお話をいただき、学生たちも熱心に聴講。

聴講した学生の声



- ・実際に農業をしている方のお話を聞いたのは大変貴重な機会だった。
- ・非農家出身から、移住もして本当に農家になった、その行動力に魅せられた。
- ・地域による特色にこだわりを持って生産・製造していることが素晴らしく、感動した。



御清聴ありがとうございました



ご質問等ございましたら、就農・女性課までご連絡をお願いいたします

(03-3501-1962)